

議 事 録

会議名	令和5年度川西市総合教育会議(第5回)		
事務局(担当課)	政策創造課		
開催日時	令和5年8月5日(土) 10時00分から12時00分		
開催場所	明峰公民館(川西市萩原台西3丁目282番地の11)		
出席者	委員	川西市 越田市長 川西市教育委員会 石田教育長、坂本委員、治部委員	
	関係職員	飯田企画財政副部長	
	参加者	7名 ※市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～への参加	
	事務局	企画財政部政策創造課 松永課長補佐、中郷副主幹、渡邊主任 教育推進部教育政策課 星野主査	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事 市長と語るかわにし Meeting～学校教育のミライ～ 3 その他		
会議結果			

会議経過

発言者	発言内容等
市長	<p>今、川西市は教育大綱という教育のあり方をどうするのかというものを作成中です。その前段として、当事者である子どもたちの話を聞こうと思い、市内各中学校、養護学校をまわった。教育でディスカッションというテーマが幅広いので、中学生たちから出た提案に基づきお話しさせていただきたいです。</p> <p>また、SNSでも学校に対する要望をよく質問をいただきます。自分としては学校に聞いてもらい、学校に判断してもらいたいと思っています。ただいきなり学校に問合せるのは難しいと思うので、学校に聞いてもらう話題、教育委員会全体で対応してもらう話に切り分けるような場にもしたいです。そこで本日は主に、クラブ活動、今の授業のありかたについてというテーマについて議論したいと考えています。</p>
教育長	5人いる教育委員の中で教育長をしています。有意義な議論にしたいです。
坂本委員	市内で私も子育てする中で、親目線でも参加したいです。
治部委員	私は心理士なので、子どもたちの心理的な面と教育的な面で議論したいです。
事務局	<p>(以下の説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.事務局よりお願いとお知らせ 2.本日の流れの説明 3.テーマ設定のいきさつについて
市長	<p>【テーマ1:クラブ活動について】</p> <p>クラブ活動については中学校の子どもたちから様々な意見をいただきました。明峰中学校ではクラブ数が少なかったり、先生の働き方改革などでクラブが成立しづらくなっています。子どもたちからはもっと部活動がしたいといった意見もある中、思い出作りの一環として、勉強に差し障りない程度でいいなどと意見が割れています。</p>
教育長	生徒にとって部活動はウェイトが大きいです。3年間頑張るという点で教育的な効果が大いだが、部活動を見直そうといった議題が国であがっています。部活動は教育課程ではないので、厳密に言うと教職員の本来の業務ではありません。教職員と子どもたちとの関係性にも影響があるところです。現在、川西市では全員顧問制にしていますが、安全性などから部活動するときには先生が見ておく必要があります。一生懸命やりたい、経験を増やすためにやりたいなど、子どもたちのクラブへの参加方法が多様化しています。文部科学省が言うように、川西市でも部活動の社会移行を考えています。3～4年の試行期間をおいて進めていきたいと考えています。
参加者	中学生が二人、陸上部に入っていますが、小さいときから続けている体操と両立しています。昔の部活動のイメージと変わってきているというイメージがあります。時代の流れであり方変わってきていると感じています。
参加者	我が家は「部活はどんどんやろうぜ」派です。ただ周りから、今は緩いんだと聞いていました。実際本人たちは楽しいと感じていますが、物足りないとも感じています。自分た

発言者	発言内容等
参加者	<p>ちが学生の頃は、先輩だけでなく顧問からも専門的な指導がありました。部活動の時間はサービス残業という話も聞いたので、もう少し組織全体で取組んでいった方がいいのではと思いました。</p> <p>自分は豊中で36年間教員生活をしていました。昔から部活動の運営は難しかったですが、何も疑問を持たず、当たり前のように教員として従事してきました。土日も含めて全部部活に捧げました。家族からは「あなたには学校しかないんでしょう」と言われるほど家に居なかったです。当時から教員は忙しかったですが、黙って部活もやってきました。</p> <p>最近オリンピックなどの国際大会が日本で開かれたり、いろんな競技でメダルなんかを取っていますが、その裏には民間のスポーツクラブがリードし、小さい頃からやってきた子どもたちがいます。それに学校も合わせていっているような傾向が強くなっていると思います。体育や部活動が民間に力を委ねている最中です。今はその過渡期だと思う。体育会系だけでなく文化系クラブについても民間施設あるいは有能な方の指導がされていくことになると思います。</p>
参加者	<p>子どもが小学生のころバスケをしていましたが、明峰中学校はバスケがありません。選択肢も少なく、陸上部に入りました。特にやりたくもなかったし緩いので、サボりがちになってしまいました。下の子もバスケに入りたいと言っていますが、また同じようになるのは悲しいです。先生は忙しいと思うので、地域に移行するのはいいことですが、本当に住民が手助けをしてくれるのか、手上げた人は本当に頼めるような人なのかなどを考えると、地域に委ねるのも難しいのでは、良い形になればとは思いますが。</p>
参加者	<p>明峰中学校は入れる部活動の数に男女の差が大きいと思います。女子はバレーもバスケもあるのに、男子運動部は卓球、陸上、野球、サッカーくらいしか選べない。子どもが直接校長先生にも掛け合いましたが、思春期だから接触プレーがある部活動は難しいなど、理由をつけて断られてしまいました。子どもたちにも選択肢を与えてもらえると嬉しいです。</p>
参加者	<p>部活について、小学校から子どもがバスケを続けています。明峰中学校に行きたいが男子はバレーもバスケもありません。学校の働き方改革は賛成です。中学男子生にとって、部活動は重要だがやりたいことが選べないのはつらいと思います。週何回かからなどでもいい。委託するにしても3~4年後からのスタートといわず、できるだけ早く始めてもらえたらと思います。</p>
参加者	<p>部活動の外部委託化は賛成です。たくさんの失敗から挫折経験を得られるのは部活動です。気軽に入れるのが部活動のいいところ。外部だから「おまかせ」にするのではなく、学校から参加を呼びかけるなど、ぶつ切りにならないようになってほしいです。</p>
市長	<p>外部委託になったときにどういうふうに教育委員会としてコミットしてもらえるのでしょうか。安全性のこと、金銭的なことや、外部に委託したことで手を離さないかなど、心配するところがあるのだと思います。完成形は将来の話だとしても、今工夫したらできそうなことをやっていくべきです。</p>
教育長	<p>部活動について、教員は教員になるまで何も習っていないです。全員が顧問をしてから</p>

発言者	発言内容等
	<p>学ぶこととなります。例えば自分がバスケをするのと指導するのはまた別です。安全面なども考慮しても制度設計が曖昧なので、全然やったことがないスポーツの顧問はかなり重荷となります。昔、明峰中学校には男子のバスケもバレーもありました。今は子どもの数、教員の数が減っている中、一つの部活に教員が二人つくなど負担が大きくなり部活動が減ってきています。指導、審判、引率もしないといけません。午前は男子、午後は女子などもあり、そういうことも考えると破綻してきています。</p> <p>教員が顧問をしているからこそ、部活数が制限されています。例えばテニスの場合、川西市では中学校に硬式クラブがありませんので、軟式になるような現状があります。そうした現状を解消するために、民間からは参入の声もあがっていますが、受け皿となる団体を探す必要があります。</p> <p>地域によって実情が異なりますが、合同チームを作るなど中学校区の範囲に収まらないような考え方をしていく必要があります。また試験前にも部活動をする、土日のどちらかは休みにするなどルールもあるので、学校運営協議会にぶら下げて公募するときに、協議会メンバーが約束事を決めて、受け皿になってもらう方法を考えています。</p> <p>また3～4年後といわず、来年はじめに民間から公募するなど、受け皿や公募条件、費用の面もあるのでいつ実現するかは分からないが、早めに動いていきたいです。</p>
市長	<p>学校の中で子どもたちにはない部活を言ってもらって一定集まるなどしたら公募したり他校とマッチングしたりするなどのイメージになると思います。すべての種目、すべての学校で実施は難しいと思いますが、各学校と共有することになるのではと思います。</p>
坂本委員	<p>ラグビーは中学校にありません。スクールにも入ったが練習場所がない。受け皿だけでも作って平日の昼間はスクールが学校のグラウンドを使うなどできるだけかなり違います。</p>
治部委員	<p>知識を伝えるのであればオンラインでいいですが、実際部活動の現場では送迎などどうしてもオンラインでは対応できないものがあります。学校運営協議会が地域と繋いでいくなど、今後どのように機能していくかがキーになると思います。</p>
教育長	<p>オンライン部活指導自体はやっています。美術なんかでは、オンラインでの指導を行う事例もあります。</p>
市長	<p>包括連携協定を締結している事業者と協働で、動画をとったものをオンラインで指導したりしています。スポーツ科学という観点で、科学的に、医学的にどのような指導をしていくのか、これから見ていく必要があります。</p>
市長	<p>【テーマ2:今の授業のあり方について】</p> <p>分からない事があっても質問しにくいという声があがっていました。授業中に質問しても先生に「今聞くことじゃない」と言われたり、職員室に行っても丸付けなど忙しそうにしている。そこで、先生に代わる大学生のチューター置いてほしいという声がありました。</p> <p>また、たまには違う中学校の先生の授業を受けたいなども意見もありました。数学と英語は少人数で受けられるようにしたり工夫はしています。皆さんにとって授業をどのように捉えられているのかご意見をいただきたいと思います。</p>

発言者	発言内容等
教育長	<p>一つのクラスを二つに割り、少人数授業について実施しています。分ける学年や教科などは学校に委ねています。主に算数、数学、英語となっており、積み重ねて前の授業が分かっていないと前に進めないものを対象としています。</p> <p>また、クラスの分け方も様々です。県は習熟度によるの分け方は基本的に推奨しておらず、子どもが自分で選択する事を進めています。教員としては、半分になることは大きいです。日本は一学級当たりの人数が多い。少ない方が目も届くのでやりやすい一方、先生ごとにわかりやすいとかもありますので、生徒からは賛否両論あります。少ない人数では出てくる意見も偏ってくるので、少人数が本当に良いのかとも思います。</p>
市長	<p>成績ごとに自動的に選ぶ方法、生徒に自分で選んでもらう方法、今の授業について、みなさんから見て課題やもっとこんなことした方がいいのではなど、受ける側の感想や意見を聞きたいですが、どうでしょうか。</p>
参加者	<p>自分が勤めていた学校での45～50人のクラスの話です。勉強をよくする学校だったので、大半が有名校に進学するが、当然できない子どももいます。グループを作成し、よくできる子をグループのリーダーにし、グループごとに教え合い学習を行いました。家庭状況など、子ども同士でしか共有していないこともありますので、学習面でもその関係性を応用させると効果的でした。</p>
市長	<p>明峰中学校では、生徒同士で教えあえたらという意見も出ました。</p>
参加者	<p>少人数クラスは賛成です。分け方については、希望は聞いてほしいと思います。中学校の勉強についていけなくなることもあります。また、ひとり一台PCがあるが、先生の知識量によって教え方にばらつきがあるのではないのでしょうか。どの先生でも使えるようにもう少し有効活用できたら良いと思います。</p>
市長	<p>少人数制にすることで、先生の当たり外れについては子どもたちからも出たと感じています。</p>
参加者	<p>明峰中学校、学力に満足はしていますが、自分の子どもは塾に行ってもさらに点数が上がりました。学校の勉強で基礎ができているのだと思いますが、もう一歩のところだと感じています。</p>
参加者	<p>自分で積極的に勉強するタイプだと問題ないですが、そうでない子どもが置いて行かれてしまうのは心配です。少人数には賛成ですが、グループワークのように分かる子が分からない子に教える環境もあればいいと思います。</p>
参加者	<p>特にできる子は特別クラス、同様にできない子も別クラスで2：6：2などに分けるのはどうでしょうか。できない子からしたら、ついて行けないのはストレスだと思います。学び合いについては、先生のファシリテーション力が課題だと思います。</p>
参加者	<p>少人数制は良いと思います。少人数にすることでしゃべりやすくなると、主体的になったりもするのではないのでしょうか。教え合ったりすることで、社会に出るといろんな人</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>がいるので、そういう意味でも学びにもなると思います。</p> <p>授業全体について、先生がば一っとしゃべったことをメモ取ったりするなどというスタイルに、ついてこられる生徒とついてこられない生徒がいます。昔は板書について行けなかったらもう終わりでした。今の、みんな平等にという考え方をもっと突っ込んでやってほしいです。自分たちで自分たちの授業をしていきたいという思いを中学生は持っているのではないかと思います。さらに専門的なところは塾でするようにしたらいいと思います。義務教育のなかでするのであればもう少しかみ砕いても良いのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>大学のチューターは手段であって、「聞きにくい環境がある」「今の授業がおかしい」というのがでていることが重要です。「先生の当たり外れ」といった意見を考慮すると、現在の、箱のなかで授業を受けさせることの転換期にあると思います。</p>
教育長	<p>少人数授業は一つの手段としては良いと思っていますが、破綻すると思っています。原因として教員のなり手が減っていることや産休、育休の代わりがないほか、教員採用試験の受験者数も減っています。その分先生の資質・能力も下がってくるかもしれません。</p> <p>文部科学省、経済産業省からは個別最適な学び、協働的な学びという考え方が出ています。今の子どもたちが就く事務上の仕事は、今後全部AIがするようになります。そうすると、専門的な分野に特化した人が必要とされます。知識を学ぶというところから、学び方を学ぶということが必要になってきています。</p> <p>今一人一台タブレットがあることで、自分のペースで自分の学び方を選べます。これが個別最適な学びです。授業中質問しにくいのは、教員が設定した線路から外れる質問には答えられないからです。ガラッと変えるのは難しいですが、個別最適な学びにシフトする必要があります。個別の学びにすることで誰が分かっているかがよく分かるようになります。</p> <p>今は学び方を知らないのが問題です。一人一台タブレットあるので、学び方を学ぶことができるようになっていきます。黒板を見てみんなで同じように勉強する国はもはや珍しいです。</p>
市長	<p>どうしてもわからない生徒のサポートをどうしていくか、提案があれば教えてほしいと思います。</p>
教育長	<p>個別最適な学習について研修しましたが、教員で反応は分かれています。明峰中学校はプレゼンがうまかった。一人一つずつプレゼンを作る授業をしています。それぞれの先生が個人の工夫でそうした授業にチャレンジしていくことで、少しずつ変えていきたいです。</p>
参加者	<p>現場の先生は、決まっている教育過程をすべてやらないといけないと思っており、飛ばしてしまったら保護者も心配になります。神戸の学校では、年間数行しか国語を進めなかったが、一行ごとに分からない事を調べさせました。分からない事を調べさせることが大事です。分からないまま教育課程を進めることが良くない。最低の知識しかないのに卒業させていることになります。</p> <p>先日英語のスピーキングのテストが5%しかできていなかったと聞きました。学校に入ってきたときに「何が言いたいか」を英語で言うように呼びかけるなどするといい。教育</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>長がおっしゃったことを一からやっていくことが大事だと思います。</p> <p>学校の先生は真面目です。今は「教育課程を終わらせること＝教科書を終わらせること」になっている人が多いかもしれません。これから教育が大きく変わっていくと思います。タブレットが普及してきたら、教え方の上手な先生の授業が保存され、單元ごとにみられるようになると思います。今は現場の先生や教育委員会などの向いている方向がバラバラ。教育大綱を策定することで、一気に転換はできなくとも、方向は全体で決められればと思います。</p>
坂本委員	<p>あれこれ教えないといけないし、それらに追われてるというリアルな声があります。先生たちにも、自分たちの授業の作り方を変えていくきっかけができてきたと感じています。</p>
治部委員	<p>大学入試に向かっていくから今の授業形態があるのかなと思います。知識、スキル、人間性が三つ巴になっていくことが教育の目的だと思いますので、そこに向かって取り組めたらと思います。</p>
市長	<p>授業を変えることは大変です。保護者にも生徒にも変わってほしくない人もいます。そして先行して変わると「なぜうちからなのか?」、変わっていない学校は「なぜうちはまだなのか?」の声があがります。少しずつ変えていくので、少しずつご協力いただきたい。</p>
市長	<p>【自由テーマ】</p> <p>前半は大きなテーマでお話ししましたが、中学生から他にも様々な提案がありました。中学生から出たテーマでも、それ以外でも、出てきた意見についてディスカッションしていきたいと思います。明峰中学校では自転車通学の話も出ました。</p>
参加者	<p>先生方は大変で、働き方改革は賛成です。やることが多いと思いますが、補佐はいるのでしょうか。丸つけや通信簿の作成など、誰でもできるようなことは補佐がやるなど、先生は先生にしかできないことをやってもらい、バイトやパートの方でもいいのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>スクールサポートスタッフをつけています。県は出してくれません。大規模校は2名、小規模校は1名。自動採点をなどでIT機器を使うなど。川西のエデュケーションネットワークを作成し、教材の勉強をしています。</p>
参加者	<p>足りていないのではないのでしょうか。また、募集はしていますか。</p>
教育長	<p>募集内容によりますね。特別支援学級のサポートについては、まだ募集してはいたはずですが。また、教員の負担を減らすため様々なことや制度も変えていく必要があり、実際に担任制を廃止した学校があるが、こだわりを持つ先生もおり一筋縄ではいかないです。</p>
参加者	<p>仕事の内容を洗い出して、見直してもらえたら良いのではないのでしょうか。小学校は先生との距離も近いが、中学校では授業感が一気に出てきます。明峰中学校は期末試験しかないのです。急に試験がやってきます。勉強の仕方についても、教えてあげることも大切なのではないのでしょうか。</p>

発言者	発言内容等
参加者	<p>修学旅行の企画など、先生が全部考えすぎじゃないでしょうか。小中高で発達段階も違うが、任せられるところは生徒にも任せたいんじゃないかと思います。</p> <p>責任をとるところは学校長がやるが、自分たちがやりたいこと、そのために必要などころは何かを考えさせるようにできるといいのではないのでしょうか。全部の子ども、生徒が中学校に来ているような環境を作りたいなどを明確にさせたいのではないのでしょうか。「先生がこわい」「学校がこわい」などを克服する方法を教えた方がいいかもしれません。学級づくりの段階で、すべての生徒が学校に喜んでいけるようにしてほしいです。</p>
参加者	<p>なにからなにまで教えないといけないというのがないのであれば、絶対にしないといけないことに集中させて、浮いた時間で新しいことをしようとした方がいいと思います。いっぱいいっぱいの中でやろうと思うと、どうしても既存のやり方が楽ということになってしまいます。</p> <p>また、自転車通学については「学校にロッカーがあるなら荷物重い問題は解決できるやん」と子どもが言っていました。</p> <p>タブレットも、もっと活用できた方がいいのではないのでしょうか。見ることができるサイトやできることが制限されています。</p> <p>あそ、先生が足りないなら、いきなりクラブチーム呼んでくるのは難しいのではないのでしょうか。まずは地域で支えるという観点で、クラブに関しても、地域のアスリートを引っ張ってきても良いと思います。地域の情報を引き出す方法を考えてみてはどうでしょうか。</p>
参加者	<p>今、川西市で教育が変わろうとしていることが分かってよかったです。今は企業も人手不足で、社内での教え合いをいかに機能させるかが大事です。</p> <p>子どもも同じで、共同的学びをどう活かしていくか。知識以外の観点でも含めて、ビジョンを掲げているのは良いことだと思います。先生も、システムも既存のものから変える必要があります。IT化や外部化はどんどん進めるべきだと思います。</p>
市長	<p>いろいろな提案をいただきました。明峰地区は、一体的にカリキュラムを作れるのではないかと思います。</p> <p>また、タブレットになった瞬間、子どもがなにをやっているか、何ができるのかなど確かに分からなくなりました。親としてタブレットで何ができて、子どもが今何をしているかわかるような仕組みがほしいと思っています。</p>
治部委員	<p>子どもが成長、発達していくことが一番です。そのためには教職員の成長と、教職員の働き方との尊重が相関関係になっていると思います。これからは地域が教職員の働き方と成長、子どもの発達と成長にどう働きかけるのかが大事になってきます。</p>
坂本委員	<p>子どもは学校だけでは成長できません。地域のクラブで活躍した中学生がいい表情をしていたが、地域から仕掛けを作っていくことが大事です。中学生が成長したときに自分がここで育ってきたという自信になって、自分らしく生きていける力になります。</p>
教育長	<p>社会のありようが変わっていく中、学校教育は頑なです。教科の専門性が増えていることなどから、選択肢の一つとして教科担任制があります。知識を教えるのではなく、学び</p>

発言者	発言内容等
市長	<p>方を教えないといけません。教えても結局学んでいないのであれば、もっと子どものペースに合わせたものにしないといけません。</p> <p>子どもが試行錯誤することが大事ですが、中学校で緊張感がでてしまうことは事実です。先生にもプレッシャーがかかっています。テストももっと小刻みにしようかという意見も出ています。もっと子どもたちにも意見を出してもらって、多様性を乗り越えて自分たちで答えを出してもらえるようにすることが大切だと思います。</p> <p>2学期に中学校2年生にこどもの権利について出前授業を実施予定です。こどもたちが自身の権利について学べるようにします。地域に人材がいらっしゃることがよく分かりました。ゲストティーチャーを招いたり、逆に生徒が地域の祭りで協力したりなど、地域と学校を繋げないといけないと思っています。</p> <p>手伝いたい事とお願いされたときが違う時の断るハードルもあります。学校と地域、先生と保護者などが点で繋がるのが原因になっていました。</p> <p>今回のように開かれた場所で困り事をシェアして、答えが見つかったら誰ができるかシェアする。教育大綱を策定していくなかで、学校運営協議会も含め、一つ一つ反映できたものをリアリティを持って進めたいです。定期的にウォッチしていただきたいと思います。</p>